令和7年12月22日

## インフルエンザ様疾患発生報告書(新規、継続)

〇 〇 保健所 御中												
(ふりがな)			0000				(ふりがな)		000 0000			
学校名			〇〇市立△△小学校				学校县		0	0	00	
所在地			00市000		Tel : 000-000-000							
	九 往 地		担当者名:〇〇 〇〇									
措置内容	口学校閉鎖			月 E	1 (	杉	交時) ~	•	月	E	まで	
	□学年閉鎖		学年	月	日	(	校時)	~	月	日	まで	
			学年	月	日	(	校時)	~	月	日	まで	
			学年	月	日	(	校時)	~	月	日	まで	
	☑学級閉鎖		診断された者のほか、高熱、上気道炎症状、全身 倦怠感等の全身症状を有し、インフルエンザが疑 佐怠感等の全身症状を有し、インフルエンザが疑 佐急感等の全身症状を有し、インフルエンザが疑								(B)のうち 欠席者数 (C)	
			1年 2組 12月	22日(2校日	時) ~	12月	23日ま	で		30	10	9
			年 組 月	日 ( 校	 時) <b>~</b>	月		 ミで				
			年 組 月	日 ( 校	 時) <b>~</b>	月	日ま	 ミで				
学年	学級数	在籍 者数	(A)のうち インフルエンザ様 疾患罹患者数	、様   (B)のつち   ク度多数			主な症状(該当部分に〇印)					
	200	(A)	(B)	(C)								
1	2	6 0	1 0	9	熱(	39°C)	)、頭痛、	腹痛、咳	核、咽頭	[痛、鼻	上水、その他(	)
2	2	6 0	3	3	熱(39℃)、頭痛、腹痛、咳、咽頭痛、鼻水、その他()							
3	2	6 0	0	0	熱(	°C	こ)、頭痛	、腹痛、「	咳、咽	頭痛、舅	鼻水、その他(	)
4	2	6 0	1	1	熱(	39°C)	、頭痛、	腹痛、咳	核、咽頭	[痛、鼻	上水、その他(	)
5	2	6 0	5	2	熱(	39°C)	)、頭痛、	腹痛、咳	友、 咽頭	[痛、鼻	上水、その他(	)
6	2	6 0	0	0	熱(	°C	こ)、頭痛	、腹痛、	咳、咽	頭痛、鼻	鼻水、その他(	)
計	1 2	360	1 9	1 5								
インフルエンザ 様疾患に よる入院者 (重症者)				人			症状	(具体的	かに記.	入のこ	(ح)	
			入院時期		(予定	2)						
その他 特記事項			〇罹患者数は、増加・減少 傾向 (該当部分に〇印) Oインフルエンザウイルスの型 A型 B型 不明									

注1 本年度9月以降に初めて臨時休業を行った場合又は前回の新規・継続の報告から1週間以上経過している場合には「新規」として報告すること。

本人(

)人 家族(

- 2 前回の新規・継続の報告から1週間に満たない間に、報告の措置内容に変更が生じた場合には、「継続」 として報告すること。(措置内容に変更がない場合は「継続」の報告不要。)
- 3 学年・学級閉鎖の場合も、学校全体の状況を記入すること。
- 4 特別支援学級在籍者についても、各学年の人数に含めること。

〇発症10日以内の海外渡航者

- 5 「(A)のうちインフルエンザ様疾患罹患者数」には、医療機関等における検査によりインフルエンザと診断された者のほか、高熱、上気道炎症状、全身倦怠感等の全身症状を有し、インフルエンザが疑われる者も含めること。
- 6 インフルエンザウイルスの型(A型、B型)の情報が得られたときは、「その他」の欄にその旨記載すること。
- 7 「発症 10 日以内の海外渡航者」については、確認できる範囲で記入すること。

## インフルエンザ様疾患発生報告書(新規、継続)

〇 〇 保健所 御中											
	ふりだ	がな)	0000	(ふりた	がな)	000 0000					
学校名			〇〇市立△△	学校長	氏名	00	00				
所 在 地			00市000	00		Tel : 000-000-0000					
,	/ 1	تام	担当者名:〇〇 〇〇								
措置内容	口学校閉鎖			月 日	1 (	校時)~	,	月 E	まで		
	□学年閉鎖		学年	月	日 (	校時)	~	月 日	まで		
			学年	月	日 (	校時)	~	月 日	まで		
			学年	月	日 (	校時)	~	月 日	まで		
	☑学級閉鎖		医療機関等 診断された 倦怠感等の	症状、全身	ł	在籍数	(A) のうち インフルエンザ様 疾患罹患者数	(B)のうち 欠席者数			
			われる者も		$\mathcal{I}$	$\overline{\langle \mathbf{A} \rangle}$	<del>-</del> (B)	(C)			
			1年 2組 12月	7 24日(1 校日	侍)~ 12	月 26日まで	Č.	30	20	11	
			1年 3組 12月	▼ 3組 12月 24日(1校時)~ 12月 26日まで					15	10	
			年 組 月 日(校時)~ 月 日まで								
学年	学級数	在籍 者数	(A)のうち インフルエンザ様 疾患罹患者数	(B)のうち 欠席者数	主な症状(該当部分に〇印)						
		(A)	(B)	(C)							
1	2	6 0	35	21	熱(39℃	2)、頭痛、脂	复痛、咳	、咽頭痛、鼻	』水、その他(	)	
2	2	6 0	4	3	熱(39℃	2)、頭痛、脂	复痛、咳	、咽頭痛、鼻	』水、その他(	)	
3	2	6 0	0	0	熱( ℃)、頭痛、腹痛、咳、咽頭痛、鼻水、その他( )						
4	2	6 0	5	2	熱(39℃	こ)、頭痛、脂	复痛、咳	、咽頭痛、鼻	量水、その他(	)	
5	2	6 0	6	3	熱(39℃	こ)、頭痛、脂	复痛、咳	、咽頭痛、鼻	量水、その他(	)	
6	2	6 0	0	0	熱( *	°C)、頭痛、	腹痛、咳	、 咽頭痛、	鼻水、その他(	)	
計	1 2	360	5 0	2 9							
インフルエンザ様疾患に			学年	_人		症状(	状(具体的に記入のこと)				
よる入院者 (重症者)			入院時期	日~ 目	(予定)						
その他特記事項			Oインフルエ	t、 <mark>増加</mark> ・減少 ンザウイルス J内の海外渡航	の型	A型	部分に B型 )人		)人		

- 注1 本年度9月以降に初めて臨時休業を行った場合又は前回の新規・継続の報告から1週間以上経過している場合には「新規」として報告すること。
  - 2 前回の新規・継続の報告から1週間に満たない間に、報告の措置内容に変更が生じた場合には、「継続」 として報告すること。(措置内容に変更がない場合は「継続」の報告不要。)
  - 3 学年・学級閉鎖の場合も、学校全体の状況を記入すること。
  - 4 特別支援学級在籍者についても、各学年の人数に含めること。
  - 5 「(A)のうちインフルエンザ様疾患罹患者数」には、医療機関等における検査によりインフルエンザと診断された者のほか、高熱、上気道炎症状、全身倦怠感等の全身症状を有し、インフルエンザが疑われる者も含めること。
  - 6 インフルエンザウイルスの型(A型、B型)の情報が得られたときは、「その他」の欄にその旨記載すること。
  - 7 「発症 10 日以内の海外渡航者」については、確認できる範囲で記入すること。